

## 食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第83回 2025年4月)



卒業式や入学式など、年度替わりは式典が多い季節である。これまでさまざまな式典に出た食いしん防だが、それらほぼすべてにおいて、不満を覚えざるを得なかった。

どうしてこんなに退屈でつまらないんだ！

つい先日も、某学校の卒業式に来賓として出席した。ソ十年前に食いしん防自身が卒業した時に較べれば、ほんのちょっぴりマシになっている点がある。昔は**選択の余地もなく「上げば尊し」を歌わされたものだが**、近年は卒業生が歌いたい曲を選べる。



とても良いことだ。でもそれ以外はな……

とにかく、最初から最後まで**儀式ばってるのが、気に入らない**。アナウンスやセリフの一言一言まで、すべてあらかじめ決められた台本にのっとり進行していく感じなのだ。これは、日本の式典すべてに共通する特徴だ。

卒業式で泣く子は、昔からいた。食いしん防は、涙を流す理由が理解できなかった。感動する演出があるわけでもない。仲の良い友だちや恩師とは卒業後だっていくらでも会えるから、哀しむ必要はない。そもそも**卒業って、泣くようなことか？**

かつて、外国人学校の卒業式に臨席した経験がある。おそらく、毎回同じような進行なのだろうが、**圧倒的に自由な雰囲気だ**。卒業生は、同じようなケープをまとっているものの、その下から覗く服装は思いっきりオシャレだ。1人ずつ名前を呼ばれ壇上に上がると、そこには先生がずらりと並んでいる。その全員とハグした後で、拍手に包まれて校長から卒業証書をもらうのだ。**みんな笑顔で、泣いている者など1人もいない**。

卒業は、めでたいものだ。祝福の場に、どうして涙を持ち込もうとするのだろうか。証書が授与される時、なぜ日本ではシーンと静まり返っているのか。また、**壇上でなされるスピーチも、つまらないことおびただしい**。視線を手もとの原稿に落としたまま、淡々とした口調で話されるのが常だ。誰か1人くらい、**会場を沸かせるようなジョークを飛ばせないものか**。



推察するに、年度や会場ごとに違ったことが行われ、話されたのでは、不公平になると考えられているのだ。一部の卒業生だけが感動的な体験をするくらいなら、全員が等しくつまらない式を送るほうが良いと。

食いしん防としては、教育で公平を尊重しすぎるのは、間違いだと思う。それでは、**子どもたちの自主性や創造力が、育たない**。他人と違うことをしてはいけないと考える大人ばかりになってしまう。

ま、常識外れのことばかりやりたがる食いしん防のような大人になるのも、考えものだが。



## TOPICS

### ☆初期消火で注意すべきこと

多発する山火事でもわかるように、空気が乾燥して火災が多い季節。もし火災を発見したら、どうすればよいだろうか。

原則として第1番にすべきなのは、**まわりに知らせること**。次に119番への通報。それから消火活動に入る。もし燃えている範囲がまだ小さければ、その**周囲から燃え移りそうなものを遠ざけるのが大事**。とりわけカーテンが燃えると、一気に天井まで火が移るので、引き剥がしてでも火元から遠ざける。天井に燃え移ったら、もはや初期消火の範囲を超えている。その場合は、**すみやかに避難**しなければならない。

燃えているのがものすごく小さかった場合。たとえば灰皿が発火しているとか、そんな時こそ**初期消火のスピードが肝心!** 本当に小さければコップの水をかけるだけでもOK(油火災はダメよ!)だし、少し大きければ消火器で大丈夫。タバコが落ちて座布団が燃えた時などは、**消火器で消した後に外へ運び出して、水をかけるのも忘れず**に。油火災はちょっと難しいので、また改めて。



逆に燃えている範囲が広がったり、天井に燃え移っていたら、**外に避難して消防署や消防団に消火をまかせよう**。自警団(自主防災組織)も無理のない範囲で活動してね!

### ☆南海トラフ地震での滋賀県の被害想定

報道ですすでにお知りになった方もおられるだろうが、南海トラフ地震が発生した際の、最新の被害想定が発表された。

県内の震度が6強~6弱という設定で、**死者400人、負傷者1万6,000人、建物の全壊が1万6,000棟**と想定された。前回より死者数は100人ほど減ったが、負傷者や建物全壊数は増えている。全壊の内訳は、揺れによる倒壊が9,200棟、火災による焼失が4,500棟。あれ?計算が合わないな……

数字が更新された根拠はわからないが、全壊数の増えたことが、負傷者数の増加にもつながっていると思われる。さらに想像をたくましくすると、消防団員や自警団員の減少や空家の増加により、火災への対応力が落ちているのが原因ではあるまいか。

だとしたら、やはり**自主防災力を高めることが、被害を少なくすることにつながる**。

上記の初期消火の記事も参考にしね！



### 今後の活動予定

- 5月11日 防災出前講座 in 勝堂町
- 5月下旬 7年度防災部会サポーター決定
- 6月ごろ こと防全体研修&会議

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

### 勝手にQ&Aコーナー

Q：初期消火で座布団の火を消火器で消した後、どうしてさらに外で水をかけなきゃいけないんですか？

A：座布団やフトンにおいては、いったん火が消えたように見えても、内部でくすぶっていることがあるからです。また燃え上がることがないように、水でとどめを刺すのです。



Q：いつも楽しく読ませてもらってます。いったいどんな人が書いているのですか？  
(市社会福祉協議会 K)

A：ああっ、ホンモノの質問が来たあっ！ しかもHPを読んでくれてる！  
ありがと〜う(号泣) どんな人が書いてるか気になりますか？ たぶん  
文章から受ける印象そのままのステキな人だ！ (イメージ→)



楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

イモ〜い♡

